博物館 topics

那覇市歴史博物館企画展
「戦前の沖縄観光 ～ディスカバー・オキナワ～」

現在の沖縄県は観光地として県内外に広く知られ、平成24年度に沖縄県を訪れた観光客数は592万人を超えました。しかし、沖縄は当初から観光地として注目されていたわけではありませんでした。

昭和初期には沖縄を観光地として県外に売り出すため、行政や観光業者などが観光振興策の検討を重ねていました。例えば、「案内ガール」養成やハブの絵葉書の販売禁止（毒蛇がマイナスイメージのため）に向けた検討、社交場を兼ねた沖縄中央ホテル建設計画などがありました。

一方、飛行機や船で沖縄を訪れ、自動車で観光地を巡るという現在の観光スタイルは戦前から既に行われていました。戦前、沖縄航路に就航していた大阪商船のパンフレットには、首里城、識名園、壺屋、万座毛、泡盛工場といった現在でも観光客が訪れる観光スポットが紹介されています。

また、当時は海水浴が現在ほど一般的ではなかったため、ビーチ整備はあまり進んでいませんでした。しかし、沖縄の美しい海は当時から注目されており、海底透視遊覧船（現在でいうグラスボート）計画や沖縄特有の魚類を観覧させる水族館建設案などがありました。

今回の企画展では、港や飛行場といったインフラ整備、観光客受け入れ体制、観光客が見た沖縄など、戦前の沖縄観光の様相を紹介します。

▲沖縄県商工課「沖縄案内」パンフレット

期 7月6日(土)～10月2日(水)
費 一般 300円

国宝尚家衣裳8月の特別展示
「紬文様の夏衣裳」

期 8月2日(金)～28日(水)

那覇市歴史博物館 那覇の歴史・文化を体感！

開館時間 10時～19時　木曜休館　☎869-5266

那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報

現代沖縄陶工展「和田伸政　茶陶展」～茶の湯とやきもの～

和田伸政作「粉引茶入」

和田伸政氏は三重県の生まれ。陶芸家・清水日呂志氏のもとで茶陶を学び、2006年からは沖縄に移住。本部町に登り窯を作り、名護岳の土を使用した作品を制作しています。本展示会では、室町時代中期に「寂」という確かな美意識を礎にして始まった茶の湯の世界を表現いたします。

日 7月27日（土）～8月11日（日）　場 3階 企画展示室　費 無料

ハイサイ壺屋焼～ヤチムン大発見！～

ヤチムン（焼物）って何だろう?壺屋焼ってどうやって作っているの?そもそも壺屋ってどんな場所なんだろう?…。そんな数々の疑問について学べる企画展です。小中学生にもわかりやすい内容なので夏休みの自由研究や壺屋焼の入門編としてぴったりです!※企画展開催期間中の土日は、壺屋焼の技法のひとつ「赤絵」を体験できる「赤絵体験～ミニタイルに絵を描こう!～」も実施します（10時～16時30分の間。申込、費用等不要）。

日 8月20日（火）～9月8日（日）　場 3階 企画展示室　費 無料

学芸員と展示を見よう ～常設展ギャラリートーク～

日 8月18日（日）午後5時から30分程度　費 常設展の観覧料が必要です（市内の小・中・高校生は無料）　申 不要。当日、博物館1階受付前に集合してください。

壺屋焼物博物館
開館時間 10時～18時（入館は17時半まで）　☎862-3761
月曜休館　※ただし、月曜が祝日の場合は開館　FAX 862-3762

歴史まーい

那覇市指定史跡
「旧天界寺の井戸」

旧天界寺の井戸は、首里に多く見られる掘り抜き井戸のなかでも由緒ある井戸といえます。天界寺は第一尚氏の尚泰久王が景泰年間（一四五〇～一四五六）に創建した臨済宗寺院で、尚家の菩提寺です。一五世紀中頃～一六世紀前半にかけて、中国地方に勢力を持った大内氏や南九州東岸の要港を抑えていた島津豊州家との交流も確認されており、琉球国の外交窓口としても活躍した寺院でした。琉球国王は、即位以後、円覚寺・天王寺とともに天界寺に参ることを例としており、格式高い寺院だったこともわかります。

発掘調査では、井戸の北側に本堂跡・参道跡、東側に建物跡が検出され、首里古地図（一八世紀初頭成立）に描かれた天界寺の様子と合致する遺構が確認できました。井戸周辺から現在の首里城公園地下駐車場周辺までを含めた範囲に天界寺が存在していたことが明らかになったのです。井戸自体は康熙三六年（一六九七）に造られ、水質もよく、日照りの時にも渇れないので、寺の用水だけでなく付近住民にも使用されたそうです。

残念ながら発掘調査後は、駐車場や道路が造られたため、現在では旧天界寺の井戸が当時の寺の様子を伝える数少ない史跡となっています。世界遺産である首里城跡と玉陵が有名なため、見過ごされることが多いようですが、琉球国の歴史を語る上で欠かすことのできない重要な史跡です。この機会にぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

※首里古地図に描かれた天界寺は、インターネット上の『沖縄県立図書館貴重資料デジタル書庫』（http://archive.library.pref.okinawa.jp/）にてご覧いただくことができます。

お問い合わせ　文化財課 ☎917-3501

協働さん いらっしゃい!

市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

お問い合わせ
まちづくり協働推進課
☎861-3846

第29回　だちびんくん　ゆしびんちゃん

今回紹介します協働大使は、なは市場をPRするために誕生した「だちびんくん」と「ゆしびんちゃん」。平成23年11月に誕生して以来、「市場PRキャラバン隊」として平和通りを中心にイベントや市内の保育園などに出向き市場をPRしています。そして、その〝生みの親〟であり、市場活性化の中心的存在が一般社団法人なは市場振興会の新里俊一理事長。「今は『来てください』といって人が来る時代ではなく、こちらから積極的に外に出て行き、お客を呼ばなければ、人は集まらない。そのための手段としてキャラクターを思いついた。言わば、〝つながるまちぐぁーキャラバン隊〟みたいなもの」と市場集客への取組を話し、そしてその手法を「牧志スタイル」と名づけ、企画から制作、プロモーションも全て市場の人たちだけで取り組んでいます。「自分たちは当初から資金面も含めほとんど〝無〟の状態からスタートした。そこからいろいろなアイディアを考え、〝有〟をつくりだしてきた。そのほうが他に頼むより好きなやり方で、楽しくできるし気が楽。今では、そうした小さな草の根の活動が自信となって、行政や色々な団体との話し合いの場でも発言できるだけの団体に成長している」と独自の活動を振り返ります。キャラクター以外にもオリジナルCD「マチグァーパワー」とその踊りを考案し、保育園でだちびんくん達と一緒に踊るなど、常に外に出て行くことを意識しています。

“牧志スタイル”で街おこし

大型店舗の出店等でマチグァーから人が離れてしまったが、「今はネットでなんでも手に入る時代。逆に今後は、市場のようなコミュニティーな場所が必ず必要になってくる。だから、今からやっておけば、10年後必ず花が咲く。そのためにも、市場の若い人たちにも、早くから関わってもらい、市場をもっと自分たちのものとして盛り上げてほしい」と将来を見通しています。

新里さんのやる気の源は、どのマチグァーにも負けたくないという〝マチグァー愛〟からきている。自然体で楽しみながら、多くの人を巻き込んで、市場を盛り上げています。

（左から）“だちびんくん”、新里さん、“ゆしびんちゃん”

うちなーぐちは あじくーたー

〈今月のテーマ〉てぃーあんだ

ロケ地：ニューパラダイス通り　食堂「花笠」

「てぃーあんだ」、tea &・・・？ではありませんよ（笑い）。漢字仮名交じりで表記すると「手ぃ脂」。料理をする際に、手の脂や塩分が食材に混じり味が付き美味しくなると言うこと。丹精を込めた、あるいは母親の愛情（肝心・ちむぐくる）をこめた料理などの意味に使用されます。ちなみに「あんだぐち」はオイルマウス（油口）・おべっかの意味です。

〈例文〉
おばあ：うり　いっぺー
　まーさんどー
　早くかめー
青年：おばぁぬ　てぃー
　あんだ　入っちょー
　くとぅやー

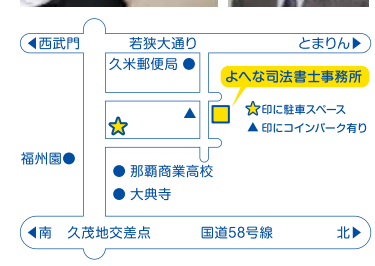
〈和訳〉
おばあ：ほれ　とってもおいしいよ。（冷めないうちに）早く食べてね。
青年：おばあさんの愛情がこもっているからね。

〈出演〉：石川フミ子、仲本修大

【お問い合わせ】
那覇市文化協会　うちなーぐち部会
名嘉山　090・4347・8798

司法書士が
無料で相談に応じます。

■ 相続、贈与と遺言
相続登記その他、家庭裁判所の手続き、遺言書作成など。
■ 成年後見
多数の後見人を務める司法書士が、実務をふまえて説明します。
■ 差押・仮差押・仮処分
預金、給料、売掛金、財産など、押さえたい方へ。
■ 日常生活の法的トラブル
商品の代金が払われない、貸したお金を返してくれない、敷金を返してもらえない、家賃を払ってくれないなど。ご相談ください。
■ 借金に関すること
■ 不動産登記
■ 会社の登記や企業法務



よへな司法書士事務所
〒900-0032 那覇市松山1-30-1 2F 営業時間：午前9:00～午後6:00（土日祝休み）
http://www.souzokuyuigon-okinawa.com
0120-309-157　※相談には電話予約が必要です。
広告